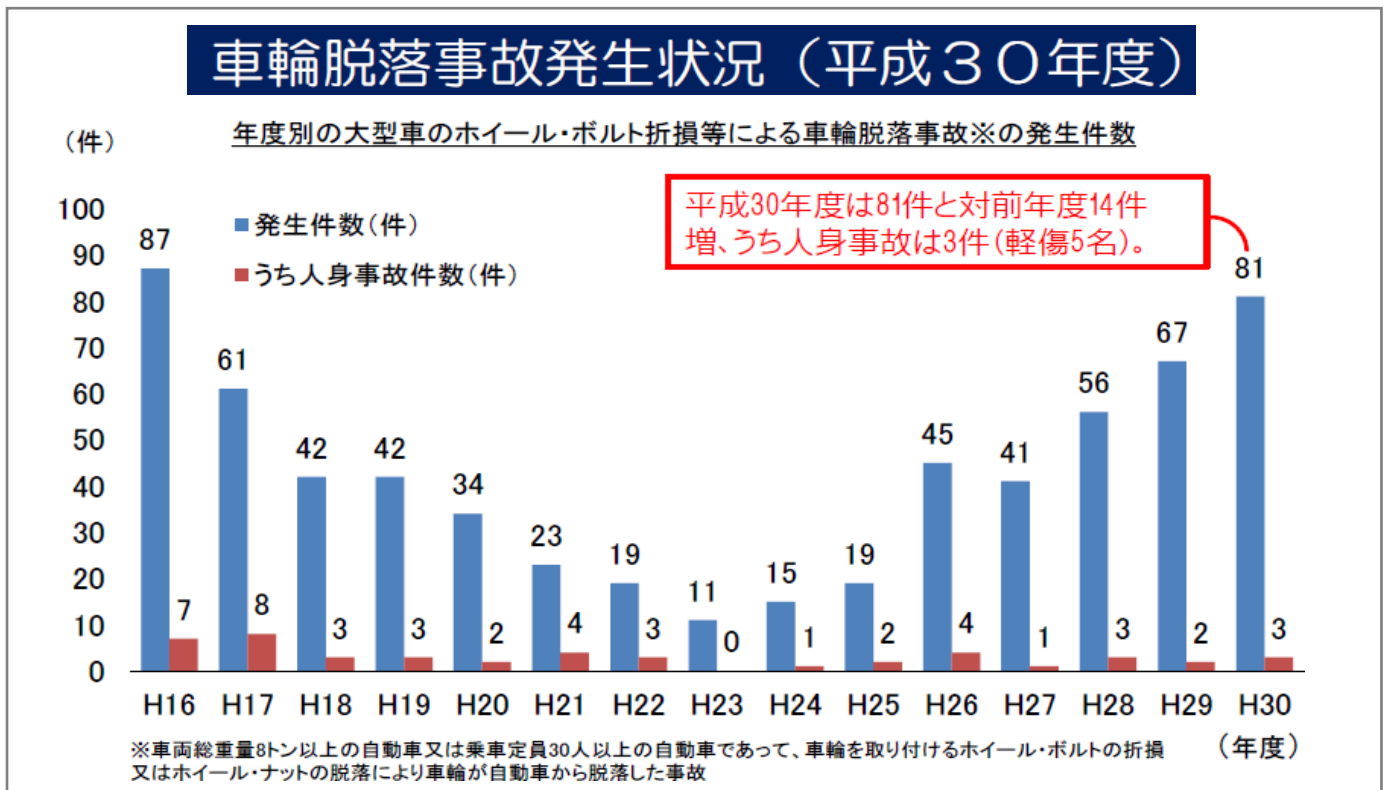


車輪脱落事故の防止について

◀ ボルトの錆や左後輪に注意！車輪脱落事故3年連続増加「厳しい状況」 ▶

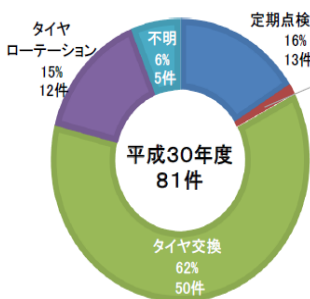
平成30年度のホイール・ボルト折損等による大型車の車輪脱落事故発生件数は81件（うち人身事故3件）と3年連続で増加し、ピークとなった平成16年度の87件に迫る厳しい状況となりました。

事故が発生した車両の傾向として、左後輪に脱落が集中していることに加え、今般、新たにホイール・ボルトやホイールの錆の除去が不十分のままタイヤ交換されているおそれがあることが確認されたため、関係団体と一致協力してボルトの錆の除去など適正な交換作業の実施、交換後、特に脱輪の多い左後輪の重点点検を大型車ユーザーに求めて参ります。（国土交通省・自動車整備課 令和元年11月15日）



平成30年度は81件と対前年度14件増、うち人身事故は3件(軽傷5名)。

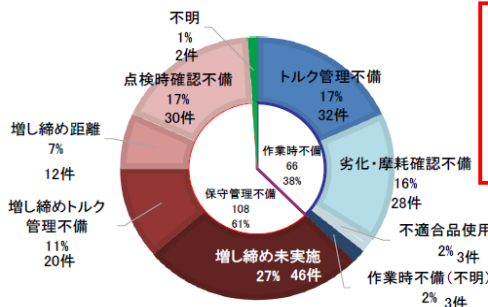
タイヤ脱着作業内容別



タイヤ交換が半数以上を占める傾向は、前年度と変化なし

- タイヤ交換
 - ・ 通常タイヤから冬用タイヤへの交換
 - ・ 摩耗したタイヤの交換 など
- タイヤローテーション
 - ・ タイヤの摩耗が偏ることを防止するため、前後・左右のタイヤを入れ替える

発生推定原因



不適切なタイヤ交換作業、交換後の保守管理の不備が主な要因となっている傾向に変化なし
約8割の事業者で事故防止のポイントが十分認識されていないことが確認。

*車輪脱落事故は、不適切なタイヤ交換作業・交換後の保守管理の不備が主な原因となっています。タイヤ交換後には重点点検を行い、車輪脱落事故防止に向けての取組をお願いします。

不明な点は気軽に適正化指導員にお尋ね下さい。

群馬県貨物自動車運送適正化事業実施機関

電話 027-212-8821